

別添 1

事前評価用チェックシート(参考例) (自然環境整備計画(国立公園整備事業))

都道府県名	秋田県	計画期間	令和 2 年度～令和 4 年度
個別地域名	十和田地域	評価年度	令和 7 年度
1 事業の必要性			チェック欄
★(1) 事業区域の自然環境、施設整備の現状及び利用の動向等から、事業を実施する必要が認められる。			○
★(2) 上位計画との整合性が確保されている。			○
★(3) 同じ国立公園の直轄事業との整合性が確保されている。			○
★(4) 自然環境整備交付金取扱要領の 1 に定める交付対象事業等である。			○
2 事業の有効性			チェック欄
★(1) 公園等の利用			
	① 公園利用者の安全確保のための老朽化施設の整備である。		○
	② 訪日外国人の快適な公園利用の整備である。		
	③ 利用環境の向上、適正な利用の誘導のための整備である。		○
	④ 質の高い、魅力ある景観づくりのための整備である。		
	⑤ 全ての人を楽しめるようユニバーサルデザイン等を考慮している。		
	⑥ 国際的な保護地を活用するための整備である。		
(2) 公園等の保護			
	① 生物多様性の確保や自然環境の保全等のための整備である。		
	② 地域に固有の風景を保護するための整備である。		
3 目標と指標の妥当性・実現可能性			チェック欄
★(1) 目標と指標の妥当性			
	① 目標に対応した適切な指標が設定されている。		○
	② 指標及び数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
(2) 経済性			
	長寿命化やコストの削減に努めるなど経済性に配慮している。		
(3) 自然環境等への配慮			
	自然環境や地球環境に対し、以下のような配慮をした事業である。 ・ 整備による風景への影響を最小限とするよう配慮 ・ 省エネの推進や再生エネルギーの活用 ・ 地域材等の天然材料等、生態系に配慮した資材の利用 ・ 外来種の持ち込み対策等に対する施工上の配慮 ・ 木材を利用する場合に間伐材を使用 ・ 廃棄物が発生する場合にリサイクル等を推進		
★(4) 実現可能性			
	① 関係機関や地域との合意が形成されている。		○
	② 整備完了後適切に維持管理が実施される予定である。		○
	③ 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		

注：★は必須項目

別添 1

事前評価用チェックシート(参考例) (自然環境整備計画(国立公園整備事業))

都道府県名	秋田県	計画期間	令和 2 年度～令和 6 年度
個別地域名	八幡平地域	評価年度	令和 7 年度
1 事業の必要性			チェック欄
★(1) 事業区域の自然環境、施設整備の現状及び利用の動向等から、事業を実施する必要が認められる。			○
★(2) 上位計画との整合性が確保されている。			○
★(3) 同じ国立公園の直轄事業との整合性が確保されている。			○
★(4) 自然環境整備交付金取扱要領の1に定める交付対象事業等である。			○
2 事業の有効性			チェック欄
★(1) 公園等の利用			
	① 公園利用者の安全確保のための老朽化施設の整備である。		○
	② 訪日外国人の快適な公園利用の整備である。		○
	③ 利用環境の向上、適正な利用の誘導のための整備である。		
	④ 質の高い、魅力ある景観づくりのための整備である。		
	⑤ 全ての人を楽しめるようユニバーサルデザイン等を考慮している。		
	⑥ 国際的な保護地を活用するための整備である。		
(2) 公園等の保護			
	① 生物多様性の確保や自然環境の保全等のための整備である。		
	② 地域に固有の風景を保護するための整備である。		
3 目標と指標の妥当性・実現可能性			チェック欄
★(1) 目標と指標の妥当性			
	① 目標に対応した適切な指標が設定されている。		○
	② 指標及び数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
(2) 経済性			
	長寿命化やコストの削減に努めるなど経済性に配慮している。		
(3) 自然環境等への配慮			
	自然環境や地球環境に対し、以下のような配慮をした事業である。 ・ 整備による風景への影響を最小限とするよう配慮 ・ 省エネの推進や再生エネルギーの活用 ・ 地域材等の天然材料等、生態系に配慮した資材の利用 ・ 外来種の持ち込み対策等に対する施工上の配慮 ・ 木材を利用する場合に間伐材を使用 ・ 廃棄物が発生する場合にリサイクル等を推進		
★(4) 実現可能性			
	① 関係機関や地域との合意が形成されている。		○
	② 整備完了後適切に維持管理が実施される予定である。		○
	③ 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		○

注：★は必須項目

事前評価用チェックシート(参考例) (自然環境整備計画(国立公園整備事業))

都道府県名	秋田県	計画期間	令和 3 年度～令和 6 年度
個別地域名	秋田駒ヶ岳地域	評価年度	令和 7 年度
1 事業の必要性			チェック欄
★(1) 事業区域の自然環境、施設整備の現状及び利用の動向等から、事業を実施する必要が認められる。			○
★(2) 上位計画との整合性が確保されている。			○
★(3) 同じ国立公園の直轄事業との整合性が確保されている。			○
★(4) 自然環境整備交付金取扱要領の1に定める交付対象事業等である。			○
2 事業の有効性			チェック欄
★(1) 公園等の利用			
	① 公園利用者の安全確保のための老朽化施設の整備である。		○
	② 訪日外国人の快適な公園利用の整備である。		○
	③ 利用環境の向上、適正な利用の誘導のための整備である。		○
	④ 質の高い、魅力ある景観づくりのための整備である。		
	⑤ 全ての人を楽しめるようユニバーサルデザイン等を考慮している。		
	⑥ 国際的な保護地を活用するための整備である。		
(2) 公園等の保護			
	① 生物多様性の確保や自然環境の保全等のための整備である。		
	② 地域に固有の風景を保護するための整備である。		
3 目標と指標の妥当性・実現可能性			チェック欄
★(1) 目標と指標の妥当性			
	① 目標に対応した適切な指標が設定されている。		○
	② 指標及び数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
(2) 経済性			
	長寿命化やコストの削減に努めるなど経済性に配慮している。		
(3) 自然環境等への配慮			
	自然環境や地球環境に対し、以下のような配慮をした事業である。 ・ 整備による風景への影響を最小限とするよう配慮 ・ 省エネの推進や再生エネルギーの活用 ・ 地域材等の天然材料等、生態系に配慮した資材の利用 ・ 外来種の持ち込み対策等に対する施工上の配慮 ・ 木材を利用する場合に間伐材を使用 ・ 廃棄物が発生する場合にリサイクル等を推進		
★(4) 実現可能性			
	① 関係機関や地域との合意が形成されている。		○
	② 整備完了後適切に維持管理が実施される予定である。		○
	③ 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		○

注：★は必須項目